

川崎市及び川崎南・川崎北労働基準監督署の 合同安全啓発パトロールを実施しました

川崎市は川崎南・川崎北労働基準監督署と協力し、合同で川崎市内の事業場を訪問して啓発活動を行う安全啓発パトロールを実施することで、労働災害防止の啓発活動を推進しています。

今年度は、安全衛生活動の優良事業所である「メビウスパッケージング株式会社 川崎工場」の作業現場を訪問し、労働災害防止の取組を確認するとともに、講評等を行いました。

今回のパトロールをきっかけとして、川崎市内の事業場で働く皆様が労働災害防止の重要性についての認識を深め、より安全で快適な職場環境の整備に積極的に取り組んでいただきますことをお願いいたします。

1 実施日

令和6年11月6日（水）

2 パトロール対象現場

名 称：メビウスパッケージング株式会社川崎工場

川崎市川崎区浮島町 11-1

3 業務内容 プラスチック容器を製造しています。

4 実施者

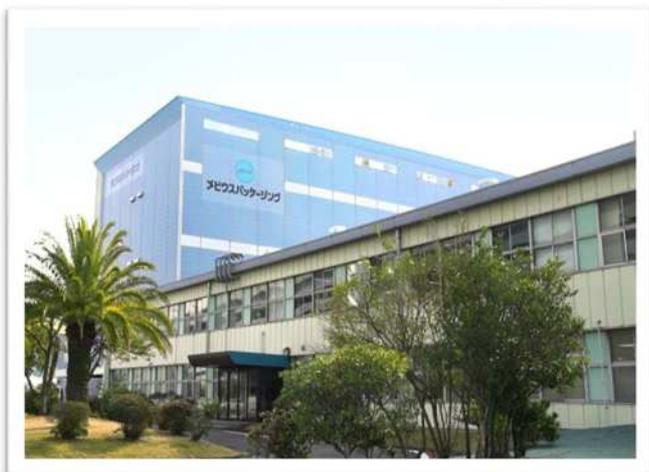
川崎市経済労働局長 川崎南労働基準監督署長 川崎北労働基準監督署長

5 取組状況

リスクアセスメントを用いた安全管理のほか、健康経営にも取り組んでおり、令和5年度神奈川労働局長奨励賞を受賞しています。

食品用の製品も扱う工場であることから、工場内は、清潔に保たれており、専用の保護衣に着替え、エアシャワー等を経由してパトロールに臨みました。

機械装置の可動域に接触することがないように覆い等が設けられており、本質安全化を推進し、危険の見える化や労働者の安全意識高揚のための取組などの説明を受けました。



安全啓発パトロールを実施した川崎工場

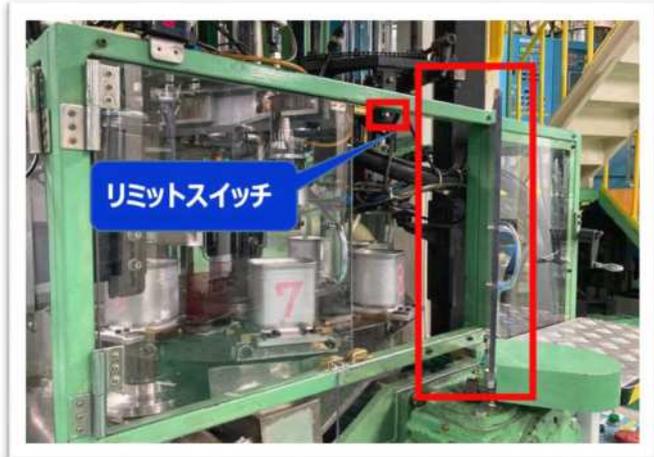


川崎市経済労働局 久万局長あいさつ

労働災害防止の取り組みの一部をご紹介します



掲示板を確認！同じK Yシートでリスク抽出
複数の部署のリスク評価が比較できます。



機械装置は、本質安全化を推進しています。
安全装置の動作確認も行いました。



注意喚起表示を確認！危険の見える化を推進
ブザーやパトランプも併設されています。



危険体感（感電）機材
危険感受性の高揚に努めています。

実施日	調査者	調査	巡回現場 対策等
実施日：2023年5月9日（火） 巡回現場：製造2課 4フロアA 巡回項目			
①無理な体勢で作業せざるを得ない場所はありませんか。	特になし		
②人がもの(機械・装置)と接触する場所・作業はありますか。	HTB-31 搬送カバーの増し締め作業時、場所によっては、狭い所に手や工具が当たる	機械停止の確認をしてからの実施とドライバーの取り扱いについて説明した。	
③回転中に手足を出してしまう場所・箇所はありますか。	特になし 但し、下記巡回指差①の箇所については、改めて見ると開口が大きく、回転部に容易に手がでせしめると認識頂く。		
④高所作業で、やむを得ず脚立を使わず作業する箇所はありますか	BMS-33 ホトル立て後の制動盤(検査機出入口コンベヤ側)の上に見え隠れして作業したのを目撃した事あり(写真あり・写真②)	各ライン脚立は準備してあります。脚上に注意喚起の表示と見かけたらその場で注意する様をお願いした。	
⑤ヒヤリとした場所・作業はありますか。 ⑥改善した方がよいと思われるところ、良くなったところはありますか	特になし		
⑦重要事項はありますか	全体的に(成形機廻りや、材料供給フロア)狭く、コンベヤ低かったり、天井が低く作業がしにくい(写真③)	現状は改善できないのでヘルメット着用と頭上、足元注意で作業をお願いした。	
巡回指摘(質問)①	BMS-33 リーマー層回収のカバーがホースがあり、カバーが開閉せず、開口が大きくなっている(写真①)	カット製品時にはカット用のカバーをかける様になっている。全員へ徹底依頼。シール時は見直しをします。	
巡回指摘(質問)②	HTB-31 オートカラーホッパータンク近く(天井)に火種があり、頭などぶつかる恐れがあります。	警報器の移動をお願いします。	



問いかけ巡視の一例

職場巡視時には、積極的に声をかけて危険要因等の把握に努めています。